

北海道 e-水プロジェクト助成制度

2022 年助成 公募要領



●e-水（上限 200 万円）コース●

●しずく（上限 10 万円）コース●

〔主催〕北海道コカ・コーラボトリング株式会社、北海道、公益財団法人北海道環境財団

事務局 公益財団法人北海道環境財団

〒060-0004 札幌市中央区北 4 条西 4 丁目 1 番地 伊藤・加藤ビル 4 階

TEL (011)218-7811(代表) FAX (011)218-7812

はじめに

21 世紀は水の世紀とも言われており、北海道の豊かな水資源は、今後、世界的にも貴重なものになると考えられています。人類も生物多様性を構成する生物の一員であり、生物多様性にとって非常に重要で貴重な北海道の水資源を保全し、北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守り、未来に引き継いでいくことが重要です。これらの使命を果たすため、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、北海道庁、公益財団法人北海道環境財団（以下「財団」という）では、2010 年から「北海道 e-水プロジェクト」を立ち上げ、協働で推進しております。

この制度は、これまで北海道コカ・コーラボトリング（株）（以下「コカ・コーラ」という。）が製造・販売する「い・ろ・は・す天然水」555mlPET の売上の一部から公益財団法人北海道環境財団にご寄付いただいた資金を原資として、水辺（川、海、湖沼など）において水質浄化、環境学習会や研修会、水源の森づくり、生態系に配慮した川づくり、在来種の回復・外来種の駆除などの環境保全活動に取り組む団体等の「事業」を支援いたします。

さらに、2020 年より、ご応募いただく活動団体の対象と事業規模の拡大を目的に新たに上限 10 万円の助成コースを設け、2021 年にそれぞれ「e-水コース」「しずくコース」という名称も付けました。皆さまの団体規模や活動内容によって、これらの 2 つのコースを選択できます。

北海道の水辺の環境保全活動を実施する皆さまからのたくさんの応募をお待ちしております。

なお、応募にあたっては、本公募要領をよくお読みいただき、ご申請ください。

事業実施の流れと年間スケジュール

時期	流れ	e-水コース	しずくコース
1月中旬頃～ 2月末	募集・申請	助成申請を募集します。 申請にあたり、ご不明な点やご相談を受け付けています。	
3月中旬	選考委員会	主催者、有識者などによる選考委員会を開催し、 助成団体を決定します。	
3月下旬	決定・通知	助成申請をされた団体に対して 「選考結果通知（採択・不採択）」を送付します	
4月1日～	活動開始	活動を開始できます	
	助成金支払い	半額を前払いします 希望する団体は、「前払申請書」を提出してください。	全額を支払います。
4月20日頃	○キックオフ ミーティング	札幌市内において、採択団体・主催者が集まり、団体間の連携を図ることを目的に開催します。採択団体には、採択された活動内容を発表していただきます	場合により、キックオフミーティングに参加していただきます。
随時	○定期報告 他	活動期間中、予定されている行事や実施した事業内容などを簡単に事務局に報告していただきます。コカ・コーラの担当者が活動現場を訪問し、動画撮影などを行います。団体からの報告や編集された動画をホームページやfacebook等、メーリングリスト等で周知します。	
11月20日頃	○活動報告会・ 北海道e-水 フォーラム	札幌市内において、これまでの活動内容を発表していただきます。	場合により、「活動報告会」「e-水フォーラム」に参加していただきます。
11月末日	活動期間終了	11月末日前に、活動を終了した団体は、終了から20日以内に、別に示す報告書等を提出してください。	
12月20日まで	活動・精算報告	報告書等を提出してください。	
助成額確定次第	活動・精算報告	助成金残額を支払います。	

2022 年「北海道 e-水プロジェクト」助成事業公募要領

1 対象となる団体（または流域ネットワーク）

この助成を受けることができる対象は、道内の水辺（川、海、湖沼など）における環境保全のための事業を行う非営利団体（または流域ネットワーク）で、原則として次の要件の全てを満たしていることが必要です。

※ 流域ネットワークとは、流域全体または一部の環境保全に向け事業を実施する複数の関係者、団体等により構成されている組織をさします。

A 団体の場合
(1) 北海道内の水辺の環境保全のための事業実施が可能な非営利の団体であること。申請内容実施のために設立された団体も可とします。
(2) 規約及び構成員名簿を有していること。
(3) 組織の意思決定により事業執行ができ、確実な経理処理ができること。
(4) 代表者・連絡責任者が明らかであること。
(5) 暴力団等反社会的勢力ではないこと。
B 流域ネットワークの場合
(1) 北海道内の水辺の環境保全のための事業実施が可能な、活動流域を同じくする2つ以上の関係者（自然保護団体、NPO、農協、漁協、観光協会、学校、町内会、行政など）で構成されている、非営利のネットワーク等であること。
(2) 規約及び構成団体の名簿を有していること。
(3) 流域ネットワークの意思決定により事業執行ができ、確実な経理処理ができる団体が存在すること。
(4) 代表団体・代表者・連絡責任者が明らかであること。
(5) 当制度へ申請することがネットワーク内で合意されていること（当制度への申請以降に、構成・加盟団体が増えることにおいては問題ございません。但し、加盟の際にしっかりと流域ネットワーク行動計画書（別記第5号様式）にある「流域の水環境の現状と課題」などの意識、目的の共有をお願いします）。
(6) 暴力団等反社会的勢力ではないこと。

※ 上記 A で申請しようとする団体が、別案件で同時に上記 B の代表団体又は構成団体として申請することもあります。

<対象とならない組織・団体等>

- ・ 自治体
- ・ 株式会社等の営利企業（団体）

※ただし、上記対象とならない組織・団体が協議会等の一員として参加する活動は対象となります。その場合、その協議会等は非営利組織であって上記 A・B の要件に当てはまる必要があります。

2 対象となる事業

北海道内の水辺（川、海、湖沼など）における環境保全活動を行う団体（または流域ネットワーク）が実施する事業。例えば、水辺に関わる地域や流域をフィールドとして行う水質浄化などの環境保全活動や環境教育のための観察

会、小さな自然再生、体験学習、セミナー、情報提供などが対象となります。セミナーや講演会のみなどフィールドでの活動を伴わない内容も可としていますが、審査ではフィールドでの活動があることを重視しています。

<具体例>

- ① 環境保全のための水質調査、水質浄化、植樹、清掃活動、外来種の駆除、希少種の保護
- ② 普及啓発のための自然観察会や水生生物調査、漂着物調査、体験活動、セミナー開催、パンフレット・教材などの作成
- ③ ①、②事業実施に関わる器材（水質検査キット、双眼鏡等）を購入し、継続的に市民へ貸出

3 対象となる事業の実施期間

2022年4月1日（金）～2022年11月30日（水）

4 助成コース

下記の2つのコースがありますので、事業内容に応じて選択の上応募してください。申請は、各コースにつき1事業までとします。併願は可能ですが、申請書はそれぞれ必要となり、採択はいずれか一方のコースのみとなります。

e-水コース
1事業あたり 200万円を上限とします。※ 半額の前払いを希望することができます。
しずくコース
1事業あたり 10万円を上限とします。※ 当年5月中に助成金全額をお振込みいたします。

5 助成総額と助成件数

助成総額
650万円 （上記2つのコース合計）
助成件数
〔e-水コース〕 数件程度を予定しています。 〔しずくコース〕 e-水コースを含めた助成総額の範囲内で採択の件数を決定します（2021年実績13件）。

6 対象となる経費

e-水コース
事業の実施に必要な経費は、下記のとおりです。対象とする経費は上記3の期間において活動に直接必要な経費とし、常勤的職員の人件費や事務所等の維持管理のための経費などは含まれません（一般管理費を除く）。 <u>なお、助成額は、審査の段階で減額されることがありますので、ご注意ください。</u>
① 謝金

講師や専門家などへの謝礼等（※ 団体、流域ネットワークの構成団体役職員等への謝金や一般常識に照らして高額な謝金は認められません）	
② 旅費	航空機・鉄道・バス・船舶などの運賃、宿泊費、高速道路料金、ガソリン代等 ※ガソリン代は対象事業以外の経費と区別するため、根拠（例：15円/km×●km）をお示しください。
③ 備品・消耗品費	文房具、雑貨、コピー用紙などの消耗品類、材料の購入費等のほか、活動に必要な備品
④ 食糧費	お弁当や飲み物などの食事代（酒類を除く）
⑤ 印刷製本費	パンフレット、チラシ、ポスター、会議資料、報告書などの印刷費（コピー代含む）
⑥ 借料・損料	会場使用料、機材借上料、貸切バス・レンタカーなど
⑦ 通信運搬費	各種郵送費、託送費
⑧ 賃金	事業実施のために雇入れた専従職員（臨時職員、アルバイトなど）への賃金・通勤費等 ※源泉徴収義務者に合致する団体は、申告義務などが生じますので、ご注意ください。
⑨ 委託費	申込団体では実施が難しく、他の事業者等へ調査や作業を発注する際に発生する費用を指します。委託費が突出していると自らの団体が行う事業と見なされない可能性がありますので、ご注意ください。
⑩ 雑費	振込手数料などの各種手数料、損害保険料、駐車代など上記科目に分類できない少額の支出。
⑪ 一般管理費（上記以外全体に関わる費用）	団体の管理費や申込活動にかかる団体役職員の人件費などを使途とし、その金額は 申込合計額の20%または10万円のいずれか少ない方を上限 とします。一般管理費を積算した場合で、助成金額の減額査定が行われた際には、査定後の決定額を元に上限を設定します。また支出実績が、助成決定額に満たなかった場合も精算合計額を元に上限を設定します。
しずくコース	
しずくコースは、採択事業のための支出であれば資金使途自由ですが、支出内容を「（別記第4号様式（共通））3.対象経費の内訳書」に記載の上、併せて申請してください。	

[注意事項]

- ア. 上記に類する経費であっても、経費の算出根拠などが不適当と判断される経費については対象経費から外れる場合がありますので、十分に留意してください。
- イ. 活動に必要であれば5万円以上備品も購入することができますが、**重要なのは「活動内容」そのもの**ですので、購入の必要性が説明可能で、かつ全体費用に占める割合が突出することのないようご注意ください。
- ウ. 備品同様、酒類を除く食糧費についても支出ができます。一人当たりの限度額等は設けませんが、必要性が認められる範囲となるようご注意ください。
- エ. 次のように、活動に直接必要な経費以外を含む経費については、対象になりません。

- ・ 申請事業には関係のない経費
- ・ 小学校・中学校・高等学校・大学・専門学校など教育機関における本来の授業カリキュラムに対する経費
- ・ その他、上記に類する経費で助成対象としてふさわしくないと認められる経費

オ、酒類など一般常識に照らして使途が不適切と考えられる支出は認められません。ご不明の点は、事前にお問い合わせください。

7 申請の手続き

事業実施を希望する団体は、以下の提出書類をすべて揃え、財団あてに郵送又は持参してください（FAX・電子メールでの提出は不可）。書類はすべて片面印刷、クリップ止め（ステープラー不可）をお願いいたします。なお、採択結果に関わらず提出いただいた申請書・添付資料は返却しませんのでご了承ください。

団体単体の場合
① （別記第1号様式）北海道e-水プロジェクト助成申請書（団体単体用）「1. 団体の概要」 ② （別記第3号様式）「2. 申請活動の内容」※しずくコースは一部記入不要 ③ （別記第4号様式）「3. 対象経費の内訳書」 ④ 団体等の規約等 ⑤ 構成員、または構成団体の名簿注）
流域ネットワークの場合
① （別記第2号様式）北海道e-水プロジェクト助成申請書（流域ネットワーク用）「1.流域ネットワークの概要」 ② （別記第3号様式）「2. 申請活動の内容」※しずくコースは一部記入不要 ③ （別記第4号様式）「3. 対象経費の内訳書」 ④ （別記第5号様式）「流域ネットワーク行動計画書」 ⑤ 団体等の規約等 ⑥ 構成員、または構成団体の名簿注）

注）構成員に団体として参画している場合は、団体の組織名と担当者の氏名を名簿に記載してください。

なお、提出書類の書式や記入方法は申請書記載例をご覧ください。

8 申請締め切り

2022年2月28日（月）（※18時必着）

9 対象事業の決定

提出された助成申請書について内容確認を行い、北海道、コカ・コーラ、財団、有識者などによる選考委員会を経て採択団体を決定し、通知（3月下旬の予定）します。対象経費の内容等により、**減額での採択となる場合**があります。

選考は、下記の視点により行います。

- 上記「2 対象となる事業」との整合性（テーマとマッチしているか）

- 水環境への貢献度
- 地域との連携（様々な主体による協働）
- 取組の継続性・将来性
- 波及性・共感性
- 新規性・独自性
- 環境課題の解決力
- 北海道らしさ

※ 連続助成への対応

複数年の連続助成についての回数制限はありません。また複数年にまたがる助成は行っておりませんので、1年ごとに申請してください。また、1年目と2年目の内容が違い新たな取り組みや発展的な取り組みであることを除き、同様の内容に関する申請につきましては優先順位が低くなりますのでご注意ください。

10 助成金のお振込み

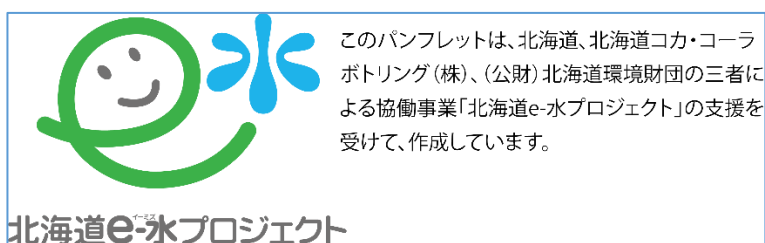
- (1)助成金のお支払いは口座振込により行います。個人名義の口座は認められませんので、採択された場合は速やかに団体名義（「〇〇団体・代表××」など、流域ネットワークの場合は代表団体または資金管理団体等）の口座をご用意ください。
- (2)提出された助成報告書などについて、当該事業の申請資料と比較検査して事業費を確定した後に支払います。
- (3)e-水コースの採択団体（または流域ネットワーク）には、5月中に助成決定額の50%（千円未満切り捨て）を前払いいたします。希望する団体は、4月15日（金）までに、事業費前払申請書（採択後にお送りする「精算等手引書」参照）を提出してください。残額は、「精算払い」となるため、一部事業費の立替が必要になります。なお、助成事業の支出が前払い額に満たなかった場合、前払い額との差額は返還していただきます。
- (4)しずくコースの採択団体には上記と同時期に全額をお振込みします。

11 留意事項

- (1)交付する事業費は、活動内容や経費の精算状況によっては、交付決定額より減額されることがあります。
- (2)対象の事業の実績が申請時の内容と著しく異なる場合は、事業費は交付されません。事業内容を変更する場合は、必ず事前に財団までご相談ください。
【ご注意！】助成事業の採択は、選考委員会の決定を経ています。事業の変更を出来るだけ避けるためにも、事前に関係者との調整をしっかりと行ってください。
- (3)対象事業を中止又は廃止する場合、又は団体の代表者や所在地、流域ネットワークの代表団体が変更になる場合は、財団までご連絡ください。
- (4)事業の実施にあたっては、国や北海道庁の基準等を参考に新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底して事業を行ってください。
- (5)活動期間中に新型コロナウイルスの感染拡大するなど、予定していた行事等が実施できない場合は、事務局に相談してください。助成金の使用状況や延期可能な内容などの状況を判断させていただき、個別に対応させていただきます。
- (6)この事業の決定交付を受けた団体（または流域ネットワーク）の名称、事業内容、交付金額は、公表します。

(7)対象事業で製作した造作物や配布物などの成果物には、「北海道、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(公財)北海道環境財団の三者による協働事業「北海道e-水プロジェクト」の助成を受けて作成しています。」などを表記し、また「北海道e-水プロジェクト」のロゴを掲載してください。ロゴは採択団体(または流域ネットワーク)にメールにてお送りします。また、セミナー・シンポジウム・研修会などの開催にあたって、同様に表記、掲載してください。

ロゴサンプル



(8)採択団体(または流域ネットワーク)は、e-水コース(場合によってはe-水コース)は、「キックオフミーティング」(2022年4月20日頃・午後、札幌市内にて開催予定)、「北海道e-水フォーラム」(2022年11月中旬・札幌市内にて開催予定・公開)へ参加いただくとともに、本制度により実施する(実施された)事業について、パワーポイントなどのプレゼンテーションソフトを用いて発表していただきます**(必須)**。なお、参加に係る旅費は、別途支給(札幌市内の団体を除く)しますので、申請内容に盛り込む必要はありません。

※ただし、新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止またはオンライン開催となることがあります。その際は別途ご連絡いたします。

(9)採択団体には、**活動情報の事前告知や簡単な途中経過報告(写真、動画を含む)**をお願いしております。いただいた内容は、北海道e-水プロジェクトのホームページやFacebook等にアップさせていただきます。写真や動画については、ホームページでの公開を前提に、参加者等への了承を得るようにしてください。

12 精算・報告

交付決定を受けた団体(または流域ネットワーク)は、助成報告書を提出していただきます。

提出期限
事業完了後20日以内又は2022年12月20日(火)の日程のいずれか早い期日まで

【留意点】

- ・ 報告書などの様式は、別途採択団体にお知らせいたします。
- ・ e-水コースは、助成報告書・事業報告書・精算報告書・支出明細書類(領収書の写し等)、WEBレポート、

活動写真を提出していただきます（精算手引書参照）。支出に関しては領収書などの証憑書類（写し可）も必要となりますので、保管と管理をお願いします。

- ・ しずくコースは、事業報告書・WEBレポート・活動写真のみの提出となります（精算報告書や支出明細書類など領収証の写しは提出不要ですが、団体にて保管と管理をお願いいたします。ご提出をお願いすることがあります）。

13 個人情報の取扱い

申請者から提供頂いた個人情報は、助成対象活動の選考および助成実施の目的のみに使用します。なお、助成対象活動の成果等は、北海道e-水プロジェクトのホームページ等で公表する場合があります

14 申請および問い合わせ先

制度内容や申請書類の作成などについて不明な点がございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。

【事務局】公益財団法人北海道環境財団 北海道e-水プロジェクト係

〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4階

TEL : 011-218-7811〔月～金10:00～18:00（年末年始・祝日を除く）〕

FAX : 011-218-7812 / E-mail : emizu@heco-spc.or.jp

北海道e-水プロジェクト助成申請書（団体単体用）

記入日 年 月 日

1. 団体の概要

団体名	(ふりがな)		
代 表 者	ふりがな		
	氏 名		
	団体の役職		
	所属住所 〒		
	TEL	FAX	
事務局などの 所在地 あるいは 主な連絡先	ふりがな		
	氏 名		
	役職		
	所属住所 〒		
	TEL	携帯	FAX
	E-mail		
設 立 年 月			
構 成 員 数	人		
活動地域 活動実績			
団体等のホームページ			
☐ 当団体は、現在又は将来にわたって暴力団等反社会的勢力ではないことを確約いたします。 ↑チェックを入れてください。			

※ 団体等の規約等と構成員名簿を添付してください。

北海道e-水プロジェクト助成申請書（流域ネットワーク用）

記入日 年 月 日

1. 流域ネットワークの概要

流域ネットワーク名	(ふりがな)		
代表団体	団体名	代表者名	
	住所 〒		
	TEL	FAX	
事務局などの 所在地 あるいは 主な連絡先	ふりがな		
	氏名		
	所属 (ふりがな)		
	所属住所 〒		
	TEL	携帯	FAX
	E-mail		
会計担当者 (事務局と 異なる場合)	ふりがな		
	氏名		
	所属 (ふりがな)		
設立年月			
構成団体数(員数)	団体 (人)		
(構成団体の) 活動地域 活動実績			
ネットワーク構成団体等の ホームページ			
☐ 当団体（ネットワーク）は、現在又は将来にわたって暴力団等反社会的勢力ではないことを確約いたします。 ☒ チェックを入れてください。			

※流域ネットワークの規約等と各構成団体の名簿を添付してください。各構成団体の名簿には、団体名、担当者の所属・職・氏名など、個人の場合は居住地（市町村）を記載してください。

別記第3号様式(共通)

2. 申請活動の内容（しずくコースは、①～⑤のみ記入してください。）

①事業名称	様々な報告書等に掲載されますので簡潔でわかりやすい名称としてください。									
②助成コース	☐ e-水コース ☐ しずくコース	申請金額								円
③活動地域	希少動植物の生息場所等にご注意ください。									
④活動内容概要 200字以内で まとめてください。										
⑤活動内容の詳細										

⑥活動実施に至った経緯および活動目的、解決したい環境課題
⑦協働パートナーと役割分担
⑧活動期間におけるスケジュール
⑨活動による水環境保全効果
⑩活動の総予算額：自主財源などを含めた総予算額になります。
万円
⑪他の助成制度、補助などへの申請状況
⑫次年以降の取組予定

※ 団体名、事業名は、報告会やホームページ等に掲載されます。
 ※ 他に資料を添付しても構いませんが、この用紙にわかりやすく活動内容をご記入ください。
 ※ 「２．申請活動の内容」は、4ページ以内にしてください。

別記第4号様式(共通)

3. 対象経費の内訳書

[illegible]

流域ネットワーク行動計画書

申請者名称	
活動流域の 範囲(地域)	
行 動 計 画 の 内 容	(流域ネットワーク内で共有している流域の水環境の現状と課題)
	(流域ネットワーク内で共有している流域の水環境保全に関する目標と2022年以降の予定)
	(流域ネットワークとして当制度申請事業以外での取組)

※ 活動項目が多いなどの理由により、この様式への記入が困難な場合においても、この様式に簡単にまとめた上で、別の事業計画書を添付してください。
その他、申請活動に伴う補足資料などがありましたら、添付してください。

北海道e-水プロジェクト助成申請書（団体単体用）

記入日 年 月 日

1. 団体の概要

団体名	(ふりがな) ○○○○○○をまるかい ○○○○○○○を守る会		
代 表 者	ふりがな	○○○○ ○○○○	
	氏 名	○○ ○○	
	団体の役職 会長（代表、理事長など）		
	所属住所 〒XXX-XXXX ●●市●●条●丁目●-●		
	TEL XXX-XXX-XXXX	FAX XXX-XXX-XXXX	
事務局などの 所在地 あるいは 主な連絡先	ふりがな	○○○○ ○○○○	
	氏 名	○○ ○○	
	役職 事務局長（会計、事業課長など）		
	所属住所 〒XXX-XXXX ●●市●●条●丁目●-●		
	TEL XXX-XXX-XXXX	携帯 090-XXXX-XXXX	FAX XXX-XXX-XXXX
	E-mail XXXXXX@XXXXX.jp		
設 立 年 月	平成21年4月		
構 成 員 数	30人		
活動地域 活動実績	○○市内の○○沼 ○○ザリガニの防除活動を○○年から実施 ○○小学校への環境教育を実施 ○○の人工ふ化を実施		
団体等のホームページ	http://WWW.XXXXXX.jp		

☒ 当団体は、現在又は将来にわたって暴力団等反社会的勢力ではないことを確約いたします。

☐ チェックを入れてください。

※ 団体等の規約等と構成員名簿を添付してください。

北海道e-水プロジェクト助成申請書（流域ネットワーク用）

記入日 年 月 日

1. 流域ネットワークの概要

流域ネットワーク名	(ふりがな) ○○○○○○かわほぜんネットワーク ○○○○○川保全ネットワーク		
代表団体	団体名	○○○○○をまもるかい ○○○○○を守る会	代表者名 ○○○○ ○○○○ ○○ ○○
	住所 〒XXX-XXXX ●●町●●条●丁目●-●		
	TEL XXX-XXX-XXXX FAX XXX-XXX-XXXX		
事務局などの 所在地 あるいは 主な連絡先	ふりがな	○○○○ ○○○○	
	氏名	○○ ○○	
	所属 (ふりがな) ○○○○をきれいにする会		
	所属住所 〒		
	TEL XXX-XXX-XXXX 携帯 090-XXXX-XXXX FAX XXX-XXX-XXXX		
	E-mail XXXXX@XXXXX.jp		
会計担当者 (事務局と 異なる場合)	ふりがな	○○○○ ○○○○	
	氏名	○○ ○○	
	所属 (ふりがな) ○○○かわに○○をもどすかい ○○○川に○○を戻す会		
設立年月	平成29年5月		
構成団体数(員数)	12 団体 (延べ250 人)		
(構成団体の) 活動地域 活動実績	○○川流域5市町村 ○○川の清掃を平成○○年から実施 流域の河畔林の再生を平成○○年から実施		
ネットワーク構成団体等の ホームページ	http://WWW.XXXXX.jp		
☐ 当団体（ネットワーク）は、現在又は将来にわたって暴力団等反社会的勢力ではないことを確約いたします。 ☒ チェックを入れてください。			

※流域ネットワークの規約等と各構成団体の名簿を添付してください。各構成団体の名簿には、団体名、担当者の所属・職・氏名など、個人の場合は居住地（市町村）を記載してください。

2. 申請活動の内容（しずくコースは、①～⑤のみ記入してください。）

①事業名称	様々な報告書等に掲載されますので簡潔でわかりやすい名称としてください。 ○○○○○○プロジェクト、○○○保全事業、○○○○○○○活動など									
②助成コース	☐ e-水コース ☐ しずくコース	申請金額								円
③活動地域	希少動植物の生息場所等にご注意ください。 ○○市内○○川流域									
④活動内容概要 200字以内で まとめてください。	活動内容の概要を200字以内でまとめてください。 採択された場合は、この文章が公開されます。									
⑤活動内容の詳細										
公募要領の「9 対象事業の決定」をよくお読みいただき、選考の視点に沿って活動内容を具体的に記載してください。「思い」ばかりが強くなっても、簡単すぎて活動内容がわからない説明でも伝わりません。 また、採択されてからの大幅な変更はできませんので、一緒に活動するメンバーと内容をよく話し合ってください。										

⑥活動実施に至った経緯および活動目的、解決したい環境課題
⑦協働パートナーと役割分担
申請する活動に関わる強度パートナーの名称とその役割についてご記入ください。 (例) ○○町内会 (住民への広報) ○○町役場 (事務局機能) ○○小学校 (活動への参加)
⑧活動期間におけるスケジュール
申請段階で予定している活動スケジュールを記載してください。 (例) ○月上旬 事業の広報 ○月中旬 事業実施 ○月下旬 データ分析
⑨活動による水環境保全効果
⑩活動の総予算額：自主財源などを含めた総予算額になります。
万円
⑪他の助成制度、補助などへの申請状況
⑫次年以降の取組み予定

※ 団体名、事業名は、報告会やホームページ等に掲載されます。

※ 他に資料を添付しても構いませんが、この用紙にわかりやすく活動内容をご記入ください。

※ 「2. 申請活動の内容」は、4ページ以内にしてください。

3. 対象経費の内訳書

対象経費	単価(円)	数量	金額(円)	説 明
①謝金			(100,000)	
専門家謝礼	20,000	5	100,000	フォーラム講師謝金
②旅費			(210,000)	
専門家招聘旅費	40,000	3	120,000	フォーラム講師旅費 札幌市⇄〇〇町
スタッフ旅費	30,000	3	90,000	講師打合せ 〇〇町⇄××市
③消耗品費			(130,000)	
材料購入	5,000	16	80,000	木道製作用資材
コピー用紙など	50,000	1	50,000	
④食料費			(10,000)	
弁当代	500	20	10,000	
⑤印刷製本費			(400,000)	
ポスター印刷	500	200	100,000	イベント広報用ポスター
チラシ印刷	20	5,000	100,000	イベント広報用チラシ
パンフレット印刷	200	1,000	200,000	啓発パンフレット
⑥借料・損料			(250,000)	
重機借上	50,000	5	250,000	水辺の整備用重機
⑦通信運搬費			(30,000)	
各種郵送費	150	200	30,000	
⑧賃金			(320,000)	
臨時職員	8,000	40	320,000	助成対象事業専従
⑨その他			(450,000)	
看板制作工事費用	520,000	1	420,000	事業実施に必要な構築物製作外注費
行事保険料	30,000		30,000	行事参加者保険料
小 計			1,900,000	
⑩一般管理費			100,000	1,900,000×20% = 380,000円のため、 上限の100,000円とする
※助成対象経費の内訳を記載してください。 (事業活動の総予算の内訳は必要ありません。)				申込合計額の20%または10万円のいずれ か少ない方を上限とします
※単価など、明確にわかっているものは正確に記載してください。 不明なものは、予定(概算)で記載してください。				
合 計			2,000,000	

流域ネットワーク行動計画書

申請者名称	〇〇〇〇〇川保全ネットワーク
活動流域の 範囲(地域)	〇〇市内〇〇川流域
行 動 計 画 の 内 容	(流域ネットワーク内で共有している流域の水環境の現状と課題)
	流域内の課題を意識して記入してください。
	(流域ネットワーク内で共有している流域の水環境保全に関する目標と2022年以降の予定)
	本申請の内容に関わらず、流域ネットワークとしての 目標を記載してください。
	(流域ネットワークとして当制度申請事業以外での取組)

※ 活動項目が多いなどの理由により、この様式への記入が困難な場合においても、この様式に簡単にまとめた上で、別の事業計画書を添付してください。